

第 74 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 10月14日(木) 14時00分~15時30分

場 所: 実習館2階総合歯科医学研究所セミナールーム

演 者: 天野 均 先生

(昭和大学歯学部歯科薬理学講座・講師)

タイトル: **骨代謝にアポトーシスはどのように関わるのか?**

要旨

アポトーシスとは細胞の縮小、核の凝集、DNA断片化といった形態的な特徴を呈する細胞死である。骨組織中でも骨芽細胞は骨細胞となり骨内に埋め込まれる際に、その半数がアポトーシスすると言われている。また破骨細胞も骨吸収終了後、骨面から離れアポトーシスする運命にあることが観察されている。骨系細胞のアポトーシスは骨組織における重要な代謝機構のひとつと考えられ、特に骨形成を担う骨芽細胞は、骨細胞となり骨内に埋め込まれる際にその半数はアポトーシスすることが示されている。今回はアポトーシスを制御するカスパーゼ3の遺伝子欠損マウスを用いた *invivo* の検索のほかに破骨細胞の生存因子として知られている CSF-1 や RANKL を用いた *in vitro* 実験を通して、アポトーシスの骨代謝への関わりについてお話ししたい。